

第 69 回メーデー北海道集会

五月晴れのもと1,500人 誰もふみつけにしない、させない社会へ

第 69 回メーデー北海道集会は、5 月 1 日午前 10 時から札幌市中島公園「自由広場」で 40 団体 1,500 人の参加で開かれました。この日は気温も上がり「五月晴れ」に恵まれて、「誰もふみつけにしない、させない社会へ」のスローガンのもとに、それぞれが思い思いの要求を掲げて参加しました。「エール交換」のプログラムでは「叩くより称え合おう」をキーワードに、10 団体・5 組の代表がペアを組み、建交労道本部からは西浦千春さんが道農協労連のたたかいへの連帯を表明して熱いエールを送りました。集会後のデモパレードでは公園内で咲き誇る桜の花の中を、建交労の札幌合同支部、札幌ダンプ支部や北海道鉄道本部の仲間などが元気に行進しました。なお「抽選会」では鉄道本部苫小牧支部の小野寺正夫さんがビール券（札幌地区労連賞）に当選しました。

北海道知事と札幌市長に 「全国統一要求書」を提出

道本部は 4 月 25 日に「2025 年春闘全国統一要求書」を鈴木直道北海道知事と秋元克広札幌市長に提出しました。昨年に引き続き「雇用・失業対策の強化、燃料高騰対策」や「建設労働者の賃金・労働条件の改善」をはじめ、道に対しては「JR 北海道への支援強化」を、道と札幌市には「放課後児童クラブの国庫補助および各種制度の活用」などについて要求項目を精査しています。

道本部建設部会が労働局・開発局に要求書 北海道建設業協会などにも要請

道本部建設部会は 4 月 24 日に北海道労働局長に「雇用・失業対策の強化および建設労働者の賃金労働条件の改善を求める要求書」を、北海道開発局長に「建設労働者の賃金・労働条件改善に関する要求書」を提出しました。また、日本建設業連合会（日建連）北海道支部・北海道建設業協会（道建協）・建設産業専門団体北海道地区連合会（建専連）に「北海道における建設労働者の賃金・労働条件改善に関する要請書」を郵送などで提出しました。

殖産運輸はすべてゼロ回答

殖産運輸支部（札幌）は会社から春闘要求書への回答を受けましたが、ベースアップについてはゼロ回答、一時金はゼロ回答のうえ夏冬の支給時期に検討、燃料手当もゼロ回答、有給休暇時の平均賃金支給に応じない、作業時の身体的負担軽減措置は「荷主との協議を続けている」としながらも具体的な回答はないなどすべての要求についてゼロ回答です。会社は昨年の春闘時の回答について質問したことに未だに回答しておらず、今回も前年同様の回答で極めて不誠実な対応が続いています。